



教育目標 考えて行動する子 思いやりのある子 きたえる子

日頃より、本校の教育活動にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。この度は、学校評価アンケート（前期）のご協力、ありがとうございました。皆様の学校へのご関心、ご期待の程を感じ、改めて身の引き締まる思いでございます。今後とも改善を続け、より良い教育活動が展開できるよう、努力してまいります。また、皆様方からのご要望は、校内で十分に検討してまいります。引き続きご協力の程、よろしくお願いいたします。

Ⅰ アンケート集計結果について ※思う:よく思う・だいたい思う 思わない:すこし思わない・思わない

項目	思う (%)	思わ ない(%)	分らない (%)
Q4.不審者・災害対策、安全指導など、子供の安全確保のための対策がとられている。	92	5	3
様々な災害や不審者等の危険な場面を想定した毎月の避難訓練や安全指導を計画的に行っております。6月28日(土)には、地域の方や保護者の方にご協力いただき、第2回目の総合防災避難訓練を実施いたしました。また、消防士の方による救命講習会や、月に一度の安全点検を行うなど、職員一同お子様の大切な命を守るために努力してまいります。			
Q5.学校施設、教室環境など安全で学びやすい環境が整っている。	90	7	3
肯定的なご意見を多くいただきました。今後も、安全で安心して学べる環境づくりを継続していきます。毎月の安全点検をはじめ、教室等の照明のLED化工事を夏休みから2学期にかけて実施しています。また、児童が学習に集中できるよう、黒板周りには余計な掲示物を貼らないなど、ユニバーサルデザインを意識した教室環境の整備に努めています。各学年・教科で児童の実態に合った安全で学びやすい環境づくりを常日頃から意識しております。			
Q6.生活アンケートや個別面談(担任やスクールカウンセラー等と児童)など、いじめや問題行動に対して適切な指導が行われている。	81	4	15
毎月、生活アンケートをとり、困ったことや不安がないかなどの聞き取りを行い、必要な指導を行うようにしています。困ったことや不安なことがある時には、学級や学年の先生でなくても、SCや管理職などだれでも相談してよいことを全校朝会などで伝えています。また、未然防止のために、道徳科などの学習で、よりよい学校生活の充実、集団生活の充実について学び合える機会を定期的に設けています。その他にもタブレットPCに相談ができるサイトの情報を掲載したり、長期休みの前後に不安がないかを聞くようにしたりして、児童が悩みや不安を一人で抱え込まない環境づくりに努めています。児童や保護者から相談があった場合に校内の関係者で情報を共有し、職員が連携して迅速に対応を行うようにしています。今後も児童が安心して学校生活を送ることができるように対応していきます。			
Q16.お子様は、友達と仲良くしている。	94	4	2
学期はじめのスタートアップ期間や毎月の生活アンケートをはじめ、子供たちが教員やスクールカウンセラーに相談しやすい雰囲気づくりに努めてきました。子供がアンケートに書いたことは教員が一一つ丁寧に対応し、相手が嫌だと思えることは絶対にさせない指導を行っています。また、お子様の学校での様子について共有したいことは学校便りやホームページ、学年・学級だより、そして保護者の方に電話や連絡帳等でお伝えしてきました。今後も思いやりの気持ちをもって生活できる児童を育てていきます。ご家庭でも、日頃からお子様の話に耳を傾けていただき、心配なことがありましたら学校にお知らせください。			

項目	思う (%)	思わな い(%)	分から ない (%)
Q7.効果や価値のある指導(ICT 活用等)を随時取り入れ、新しい時代に必要な資質を育成している。	82	8	10
Q23.保護者や地域の教育力を活用した教育活動が行われている。	79	7	14
「分からない」との回答が一定数見られたことから、学校としての取組をさらに発信していく必要があると感じています。本校は昨年度より、コミュニティ・スクールとして「地域とともにある学校」を目指し、地域全体で子供たちを育てていく教育環境の充実を図っております。子供たちのニーズに合わせ、実態に合った人・場所・ものと効果的につながりながら、よりよい教育を目指していきます。また、タブレットを効果的に活用した授業づくり、中学校や特別支援学校、赤城移動協教室での現地校との交流、保護者の方も含めたゲストティーチャーによる体験授業も引き続き行っていきます。学習や行事において保護者の皆様にご協力いただく場面もありますので、今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。			
Q8.基礎・基本の学力の定着を図り(校内研究の推進、東京ベーシックドリルの結果をもとにした)、学ぶ楽しさを味わう授業、よくわかる授業が行われている。	81	8	11
東京ベーシックドリルの結果を分析することで、重点課題を共有しています。朝学習で、漢字や計算など、児童の実態に合わせたものを計画して進めています。例えば、九九検定など、全員が一定のスキルを身に付けるための方策をとっています。基礎・基本の定着のためには、繰り返し取り組むことも必要です。引き続き、お子様の家庭学習での取組にご協力をお願いします。授業づくりにおきましては、子供たちが楽しく、意欲的に学習できるよう、アンケートを実施するなど、子供たちの興味関心等、実態を把握して効果的な教材を検討するなど、授業改善に取り組んでいます。放課後学習「やぎ小寺子屋」につきましては、今年度から施設開放運営協議会に運営をお願いしています。			
Q9.子供のよさを認め励ます指導、個別最適な指導、最後までやりぬく指導が行われている。	83	9	8
昨年度より西東京市立学校教育研究奨励事業研究奨励指定校を受け、子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びを研究の中心に据え、研究授業や授業実践を重ねています。児童一人一人が個の特徴を発揮できる、自分のよさを生かすことができる場面を多く設定することで、一人一人のよさを伸ばすことができ、一人一人に合った学習を進められるよう単元構成を工夫しています。今年度は11月に研究発表会を行います。市内、都内の先生方に授業を公開してご意見を頂くことで、更なる授業改善に繋げてまいります。			
Q10.話をよく聞き、自分の考えをすすんで発表できる態度や力を養うための指導が行われている。	84	7	9
自分の考えがもてるように題材や発問を用意し、自ら発言する場面や考えを交流したくなる場面を積極的に設けていきます。何を伝えたいか考えながら聞くことができるようにし、友達と意見の交流をすることで、自分の考えも広がったという実感がもてるよう、日々の指導を一層工夫していきます。			
Q11.朝読書や読み聞かせ、読書旬間を通して、すすんで読書に親しむ態度が養われている。	82	12	6
本に親しむ一助となるように、朝読書の時間の確保、さらにボランティアの方による読み聞かせ、図書委員会による読書旬間期間中のイベントなどの様々な活動を実施し、読書習慣が身に付くよう取り組んでいます。学校だけでなく、ご家庭でも親子で本に触れる時間を設けていただくことで、子どもたちの読書習慣がさらに育まれると考えております。			
Q12.道徳の時間をはじめ、さまざまな指導を通して心の教育の充実が図られている。	88	4	8
今後も引き続き、子供たちが様々な立場に立って考える時間や友達の考えを聞く時間とっていきます。また、これまでの生活を振り返り、今後の生活への活かし方を考える時間を大切にしながら、心の教育を充実させてまいります。			

項目	思う (%)	思わな い(%)	分らない (%)
Q13.たてわり班活動等を通して異学年の交流が効果的に行われている。	88	6	6
異学年の児童がグループを作り、様々な活動を行う「たてわり班活動」を通して、学年を超えた繋がりを深めています。今年度からは全校遠足でも、たてわり班の友達と楽しく遊びました。月に一度程度のたてわり班活動を行うことで、異年齢集団で協力する大切さを理解することや、高学年児童のリーダーとしての意識向上などを目指しています。			
Q14.心が通い合う挨拶や丁寧な言葉遣い等、言葉を大切にした指導が行われている。	83	7	10
挨拶に関しては学期ごとに目標を設定し、学級に掲示をして指導を行っています。代表委員会が中心となって行っている挨拶運動でも、回を重ねるごとに気持ちのよい挨拶ができる児童が増えてきています。丁寧な言葉遣いについては、学校生活のルールにも記載し、日常的な指導を行っています。特に正しくない言葉の「使い始め」を見逃さず、自分の思いなどを表現するのに本当にふさわしい言葉なのかを指導していくようにします。ご家庭でもそういった言葉を使い始めたときに、周りの人がどのように感じるかなど、お話をしていただくようお願いいたします。			
Q17.お子様は、相手の目を見て挨拶している。	73	22	5
昨年度から引き続き「自ら挨拶すること」が課題であると児童からも声があがっています。登下校を見守ってくださる皆様やスクールガードの方々、校内整備をしてくださる用務員さん、校内で出会う方々に、気持ちのよい挨拶をしようと、あいさつ目標と共に日々伝えているところです。1学期は、代表委員会による挨拶運動で、「やぎんちゃんシールを集めよう」といった目標を掲げ、工夫した取り組みを行いました。引き続き、まずは教職員から挨拶を広げていこうと思います。保護者の皆様も、ぜひ「相手の目を見て挨拶しようね」とお子様に毎朝、お声掛けいただけますようお願いいたします。			
Q15.集団生活での細かなルールを守り友達と協力して活動している。	90	7	3
学びと生活と遊び、タブレット、SNS に関する柳沢スタンダードを基に、学校全体で共通のルールを周知し、指導しております。集団生活における人との関わり方について、ご家庭でもぜひお子様と話し合っていただければと思います。			
Q18.保健指導や体育授業等を通して健康な身体づくりに取り組まれている。	93	4	3
Q20.お子様は、すすんで運動に取り組んでいる。	78	19	2
保健の授業等では、自分たちの体について知り、大切にしていこうとする心を育む指導に努めてまいります。体育の授業では、十分に体を動かす運動を工夫したり、思い切り走ったりする活動を通して、運動量を確保し体力の向上を目指していきます。また、休み時間に教員も一緒に遊んだりすることは、体を動かす楽しさを味わうよい機会となります。引き続き楽しみながら運動に親しむことができるよう取り組んでまいります。普段関わることの少ない友達とも安心して遊ぶことができる、放課後遊び場開放も、ぜひご活用ください。			
Q19.「早寝・早起き・朝ごはん」を習慣化するように指導が行われている。	85	7	9
今年度は4～6年生は6月に「生活カード」を1～3年生は「夏休みけんこうカード」の取組を実施しました。3学期の発育測定の際には、生活リズムを中心に保健指導を行う予定です。学習に集中したり、免疫力を高めたりするためにも、朝、エネルギーを補給し、脳のはたらきをよい状態にしてから登校することは大切です。今後も、子供たちが、自分の心と体の成長に目を向けていけるよう、ご家庭と連携を図ってまいります。			

項目	思う (%)	思わな い(%)	分からな い(%)
Q21.学校公開、行事、学校だより、学年だより、ホームページ等を通して学校の様子が伝えられている。	96	3	1
「思う」との回答が 96%と高く、多くの保護者の皆様に情報が届いていることに感謝申し上げます。1学期は運動会や総合避難所訓練を通して、子供たちの活動の様子を見ていただく機会を設けました。2学期は9月に道徳授業地区公開講座を実施いたしました。その後は開校 50 周年式典・研究発表会があり、3学期には、1月に学校公開、2月に学習発表会を予定しております。学校からのお知らせ等は「すぐる」を通して行っております。校外学習などの際は、できるだけタイムリーに子供たちの様子をご覧いただけるように、すぐるにて活動の様子を発信しております。ぜひご覧ください。			
Q22.保護者の思いや意見を受け止め、適切に対応している。	85	5	10
日頃より、保護者の皆様には教育活動へのご理解、ご協力を賜り、感謝しております。学校では行事ごとに保護者アンケートを実施し、いただいたご意見を真摯に受け止めています。全てのご意見をそのまま教育活動に取り入れることは難しい面もありますが、子供たちの成長にとって必要なものは積極的に反映していけるよう努めてまいります。また、保護者と担任（学校）が「共育」していくために、昨年度から個人面談を7月、12月に行うようにしたことで、お子様の学習・生活の様子を直接お伝えするとともに、ご家庭での様子や保護者の方の思いを伺う機会を増やしています。お子様のことでご心配な点がございましたら学校評価アンケートや個人面談に限らず、いつでも学校にお話しいただければと思います。教職員一同、「チーム柳沢」として、よりよい解決法を考え、対応してまいります。			

2. 自由記述欄の内容について

自由記述欄には、保護者の皆様から様々なご意見をいただきました。学校への感謝のお気持ちや教職員を気遣うお言葉もたくさんお寄せいただきました。心よりお礼申し上げます。

特に多くの方からいただいたご質問やご意見を中心に、回答いたします。

今後もお気付きの点やお困りのことがございましたら、いつでも学校にご相談いただけますよう、お願い申し上げます。

ランドセルについて:リュック登校も可能にしてほしい。重さが気になる。

ランドセルの代わりにリュックサックで登校することも可能です。年度途中からも可能です。タブレットを持ち帰っていますが、その日の宿題等に最低限必要な教科書やノート類だけを持ち帰ることで、ランドセルの重さを軽減させています。

欠席の際の学校からの連絡について:どのようなきまりがあるのか。

原則 2 日休むごとに連絡いたします。連絡を徹底していきます。

熱中症対策について:運動会等で暑さが心配になった。

テント設営に関しましては、全児童を入れるだけのテントが本校に無いため、近隣校から借りるなど検討しております。また、屋外の行事につきましては、引き続き、午前中の開催や暑い時期を避けた実施などの工夫をしております。

担任等先生との関わりについて:友達関係に悩んでいるが、先生に相談しにくい様子が見られる。

直接担任に相談することが難しい場合は、学年の他の教員や専科教員、養護教諭、管理職、SC、SSW など、他の教職員に相談することもできます。まずは、担任に、話しやすい雰囲気をもつように指導してまいります。

人材について:介助員の先生が足りないように感じる。

引き続き、市に現状を伝え、要請してまいります。